

恩納村のごみ処理経費・ごみ搬入量・資源化量等について

中部北環境施設組合に搬入された令和元年度のごみ量は、前年度と比較して増加しています。ここ数年概ね横ばいの状況にありますが、村民一人当たりのごみ処理に係る経費が多額であります。より一層恩納村が推進するごみ分別、リサイクルの取り組みを徹底し、ごみの減量化を図る必要があります。

1. 令和元年度ごみ処理経費

経費区分	金額	村民1人当たり 年間負担金額	1世帯当たり 年間負担金額
ごみ収集運搬等諸経費	2,198 万円	1,986 円	4,042 円
負担金	ごみ処理経費	1 億 6,115 万円	14,563 円
	最終処分費	445 万円	402 円
ごみ処理総事業費	1 億 8,758 万円 (1 億 6,591 万円)	16,951 円 (15,076 円)	34,494 円 (31,333 円)

*()内の数値は平成30年度実績です。



リサイクリンちゃん

2. ごみ搬入量

ごみの種類	平成 30 年度	令和元年度	前年度比較	村民1人当たり 1日の排出量	1世帯当たり 1日の排出量
可燃ごみ	5,578 トン	5,547 トン	-31 トン	1,373.3 グラム	2,794.7 グラム
不燃ごみ	121 トン	141 トン	20 トン	34.9 グラム	71.0 グラム
粗大ごみ	109 トン	93 トン	-16 トン	23.0 グラム	46.9 グラム
資源ごみ	缶 類	77 トン	83 トン	6 トン	20.6 グラム
	びん類	264 トン	291 トン	27 トン	72.1 グラム
	ペットボトル	71 トン	82 トン	11 トン	20.3 グラム
	古紙類	1 トン	0 トン	-1 トン	0.0 グラム
合 計	6,221 トン	6,237 トン	16 トン	1,544.2 グラム	3,142.3 グラム

3. 資源化量

種 類	平成 30 年度	令和元年度	前年度比較
缶 類	65 トン	68 トン	3 トン
金属類	71 トン	65 トン	-6 トン
びん類	251 トン	277 トン	26 トン
ペットボトル	64 トン	74 トン	10 トン
蛍光灯	3 トン	3 トン	0 トン
乾電池	5 トン	5 トン	0 トン
スラグ	367 トン	390 トン	23 トン
メタル	4 トン	4 トン	0 トン
合 計	830 トン	886 トン	46 トン

* 令和 2 年 3 月末の人口 11,066 人、世帯数 5,438 世帯、平成 31 年 3 月末の人口 11,005 人、世帯数 5,295 世帯です。

* 端数処理をしている為、数値が一致しない場合があります。

* 資源化量の金属類は、不燃ごみ・粗大ごみから破碎・分別して出てきたものです。

* 資源ごみ搬入量と、資源化量の数値の違いは、手選別作業による異物除去のためです。

* 負担金とは、ごみ処理事業を行う為に必要な経費を恩納村から中部北環境施設組合にあてる、ごみ処理経費です。

4. 最終処分量

種 類	平成 30 年度	令和元年度	前年度比較
飛 灰	188 トン	178 トン	-10 トン

お問い合わせ：中部北環境施設組合 ☎972-6619

ごみを減らす 4R運動を 実践しよう。

ごみを減らすためには、一人ひとりがごみを減らす意識を持つことが大切です。そこでごみを減らす 4 つの R を心がけて、環境にやさしく、大切な資源として活かす取り組みを始め、ごみ減量へのご協力をお願いします。

1 リフューズの R → ごみを持ち込まない。

- 不要な物は買わない、貰わない。
- ごみになる物は断る。
- マイバックを持参しよう。

3 リユースの R → 再使用する。

- 使えるよう修理してみる。
- 別の使い方を考える。
- 欲しい人にゆずる。

2 リデュースの R → ごみを減らす。

- 必要なものを必要な量だけ購入する。
- 食品を買いすぎない、作りすぎない、食べ残さない。
- 生ごみは十分な水切りをする。(生ごみの約 8 割は水分)

4 リサイクルの R → 再利用する。

- 資源を正しく分別する。
- 買ったお店で回収ボックスを利用する。
- 生ごみを堆肥にする。